

SANMARCO "CONTINUO"

サンマルココンティニューオ施工ガイドver.8



Kitchen Counter



Kitchen Counter
& Wall



イタリア サンマルコ社の「CONTINUO - コンティニューオ -」は、防水性や耐摩耗性を求められる床にも施工ができる内装用左官材料です。タイルや石などの様なピースを並べていくのではなく、ひとつの面は勿論、床・壁・造作材の全てを継ぎ目のない連続した美しいテクスチャーで一体形成の表現が可能です。コンティニューオは、これまでの左官材料では施工が難しかった浴室やトイレなど水掛かりを気にせず使用でき、モルタル風キッチンカウンターやシンク、モルタル風ダイニングテーブル、モルタル風の洗面化粧台も作成できます。

コンティニューオは下記①～⑤の商品からなる材料です。
用途に応じて組み合わせが変わります。

※灰汁止め材、各種メッシュ、パテ等別途必要な場合があります。



①アトモ or プロリンク (接着増強剤)

※タイル、天然石など吸い込みのない下地はプロリンク

②レベルゼロ or ベース (下地補強が必要な場合)

※カウンターの下地施工はベース

※床施工はレベルゼロ+全面メッシュ伏せ込み

③デコ AB (2液性仕上げ材：樹脂モルタル)

④リンク AB or リンクアート AB (2液性エポキシ液・モルタル硬化材)

⑤トップ AB (2液性ウレタン液・防水及び表面保護効果)

例

●床施工 (防水)

①～⑤+全面メッシュ

●カウンター天板 (防水)

①、②、③、④、⑤

●壁施工 (防水)

①、③、④、⑤ となります。

各手順の乾燥時間が短くリードタイムに優れております。
最短2日での施工が可能です。

施工手順

※事前の準備として合板など木材や古壁などに施工の場合は灰汁止めを塗布して下さい。
石膏ボードや合板の継ぎ目のある箇所、合板の小口はメッシュテープとパテ処理をしてください。ビス頭の凹みもパテ処理してください。ベースを施工する場合はパテの代わりとなりますのでメッシュのみでパテ処理は省けます。
施工手順、乾燥時間をしっかり守って施工して下さい。

商品、施工概要

| | | | |
|---------------------|------|----|-------------------------|
| ①-1 アトモ ローラー施工 | 製品形状 | 液体 | 通常下地における接着増強剤 |
| | 希釈 | | アトモ：水 = 1：1（100%希釈） |
| | 施工方法 | | 1回塗り |
| | 乾燥時間 | | 摂氏20度環境で1～2時間 |
| ①-2 プロリンク ローラー施工 | 製品形状 | 液体 | タイル等未吸収下地における接着増強剤 |
| | 希釈 | | プロリンク：水=1：0～0.1（～10%希釈） |
| | 施工方法 | | 1回塗り |
| | 乾燥時間 | | 摂氏20度環境で1～2時間 |

| | | | |
|---|------|--------------------|--|
| ②-1 レベルゼロ (&メッシュ) コテ施工 塗り厚 3mm | 製品形状 | ベース：紛体 メッシュ：幅1m | レベルゼロ：合成樹脂入りセメント メッシュ：耐アルカリ性メッシュ |
| | 配合比 | | レベルゼロ 25kg に水 4～4.2ℓ |
| | 施工方法 | | 1回塗り 塗り厚 3mm 程度 メッシュを被りが無いように敷き、コテで押えて埋め込む。※乾燥後メッシュの透けが気になる場合は2倍希釈のリンク塗布後に再度レベルゼロを薄く塗る。 |
| | 乾燥時間 | | 摂氏20度環境で2～3時間 |
| ②-2 ベース コテ施工 塗り厚 1～2mm | 製品形状 | ベース：紛体 | コンティニューベース：合成樹脂入りセメント |
| | 配合比 | | 25kg に水 6ℓ |
| | 施工方法 | | 1回塗り 塗り厚 1mm 程度 |
| | 乾燥時間 | | 摂氏20度環境で2～3時間 |

| | | |
|--|----------------------------|---|
| <p>③「コティニューデ」 (1回目塗り付け/ 2回目不陸調整)</p> <p>コテ施工 2回で塗り厚 1~2mm</p> | 製品形状 デコA ペースト デコB 粉体 | 2種混合材 デコA：アクリルポリマー入り水性エマルジョン デコB：セメント、骨材 白色粉体 |
| | 配合比 | デコA：デコB = 3：1 ※少量加水 OK (デコA 15kg に対しデコB 5kg) |
| | 施工方法 | コテ 2回塗り 1回目は1~1.5mm程度で塗り付け 2回目は0.5~1mm程度で不陸調整をする。2回目塗り付け後、鏝押え、鏝磨き作業をする。 |
| | 硬化時間 | デコA+デコB混合施工後 摂氏20度環境で 2度目の作業開始までの養生時間3時間 2度目完了からリンクまでの養生時間3時間 |

| | | |
|---|----------------------------|---|
| <p>④-1 リンク (浸透性硬化材： エポキシ樹脂)</p> <p>ローラー施工</p> | 製品形状 リンクA 液体 リンクB 液体 | 2種混合材 リンクA：超浸透性水溶エポキシプライマー リンクB：エポキシ硬化剤 |
| | 配合比 | リンクA：リンクB：水 = 2：1：12 |
| | 施工方法 | ローラー1回塗り (強度をより強くしたい場合は硬化後2回目を塗布。) |
| | 硬化時間 | リンクA+リンクB+水 混合後 摂氏20度環境で トップ塗布開始までの養生時間8~12時間 |
| <p>④-2 リンクアート (浸透性硬化材： エポキシ樹脂)</p> <p>ローラー施工</p> | 製品形状 リンクA 液体 リンクB 液体 | 2種混合材 リンクA：超浸透性水溶エポキシプライマー リンクB：エポキシ硬化剤 |
| | 配合比 | リンクA：リンクB：水 = 1：0.7：4 |
| | 施工方法 | ローラー1回塗り (強度をより強くしたい場合は硬化後2回目を塗布。) |
| | 硬化時間 | リンクA+リンクB+水 混合後 摂氏20度環境で トップ塗布開始までの養生時間4時間 |

| | | |
|---|---|---|
| ⑤トップ (表面硬度、耐こす れ、防水性) ローラー施工 | 製品形状 | 2種混合材 トップA：無黄変性アクリルウレタン トップB：硬化剤 |
| | トップA 液体 トップB 液体 | |
| | 配合比 | A：B：水 = 100：30：13 |
| | 施工方法 | 壁：ローラー1回塗り カウンターなど：ローラー2～3回塗り 床、浴室など：3回塗り |
| 硬化時間 | トップA+トップB+水 混合後 摂氏20℃環境で、 2回塗り作業開始までの養生1～2時間 3度塗り作業開始までの養生1～2時間 最終層塗布から24時間で最終硬化が完了 | |

| コンティニューオ 施工可能下地 | |
|-------------------|---------------|
| ◎施工可 | ×施工不可 |
| ・コンクリート | ・リノリウム建材 |
| ・天然素材で施工された乾燥した古壁 | ・金属面 |
| ・モルタル | ・ガラス面、ガラスブロック |
| ・陶磁器タイル | ・トイレ（陶器製、樹脂製） |
| ・石膏ボード | |
| ・レンガ/石積み | |
| ・古いエポキシ、ポリウレタン仕上げ | |

施工詳細 補足ポイント

プライマー

【アトモ編】

5㎡分 小分け目安 (アトモ 300cc+水 300cc)

養生時間 1～2時間 (20℃環境)

アトモを100%希釈して使用下さい。

【プロリンク編】

5㎡分 小分け目安 (プロリンク 400cc+水 40cc)

養生時間 1～2時間 (20℃環境)

★タイル等の表面がツルツルした下地の際は研磨で表面に傷を付けてから塗布

下地ベース材

【レベルゼロ編】

5㎡分 目安（レベルゼロ 1袋 25kg+水 4~4.2ℓ）

養生時間 3時間（20℃環境）

床施工時はレベルゼロをご使用ください。全面メッシュ伏せ込みの際メッシュの重ねは不要です。下地の繋目とメッシュの繋目はずらす様にして下さい。メッシュ伏せこまない箇所に使用する場合は塗り厚がうすくなりますので施工面積が伸びます。

【コンティニューオ ベース編】

5㎡分 小分け目安（ベース 5kg+水 1.2ℓ）

養生時間 2~3時間（20℃環境）

1袋 25kg に対して6ℓの水で十分攪拌して下さい。施工目安は 12~20㎡。

仕上げ材

【コンティニューオ デコ編】

5㎡分 小分け目安（デコA 5kg+デコB 1.7kg） ※量りをご用意ください

養生時間 各約3時間（20℃環境）

添付カラーボトルを良く振り顔料全てデコA（15kg バケツ入り材料）に入れます。カラーボトル容器に残る顔料はごく少量の水ですすぎ入れて下さい。攪拌機を使い色むらが無くなるまでデコAを十分攪拌して下さい。着色済のデコAとデコBを3：1の割合で必要量とり混合します。混合の際デコBの紛体がダマにならないように十分混ぜてください。硬い場合は少量加水してください。2回目の施工までの間に混合物の残りの材料が固まらない様に密閉性の良い容器で保管して下さい。デコAとBは都度混合の使用使い切りが基本です。

《デコ柄付け例とポイント》

1回目のコテ跡が仕上がりの柄に影響与えます。うっすら柄を出しながら手触りはツルッと仕上げるコツは、1回目は柄をはっきりを薄くつけて施工し、2度目のデコでコテ跡の凹凸を無くす程度に薄く塗り付けてください。2度目の塗り付け後、手につかない程度に乾いたら綺麗なコテで押える（磨き作業を行う）と表面の目が詰んでツルツルしてきます。



1 度目塗り付け



2 度目塗り付け+押え磨き

- ★押え磨きの際は厚さ 0.5~0.6 mm 程度の硬めのコテをご使用下さい。
- ★押え磨き過ぎはコテの摩擦熱でくすみ（コテ焼け）が発生する場合があります。白色や薄い色の場合でくすみが気になる場合は、乾燥後に 120 番~240 番のサンドペーパーで研磨すると薄くなります。黒など濃色系はサンドペーパーで研磨すると白っぽく色が薄くなりますが、浸透性のリンクを塗布する事で色はほぼ戻ります。無研磨仕上げ箇所との色差が生じる場合がございますのでご注意ください。
- ★1 度目のコテ跡の凹凸が激しすぎた場合は2 度目を塗る前に凸部を 80 番~120 番のサンドペーパーで削って下さい。
- ★次のリンク塗布までの養生時間は十分とりしっかり乾燥させてください

硬化液

※リンクとリンクアートは配分量と硬化時間が異なりますので商品名ご確認の上ご使用ください。

【コンティニューオ リンク編】

5 m²分 小分け目安 (リッ A40g+リッ B20g+水 240g)

電子量りをご用意ください

養生時間 8~12 時間 (20℃環境)

リンク A とリンク B と水を 2 : 1 : 12 の割合いで混合してください。

リンク B が気温によっては中身が水あめの様に硬くなり出しにくい場合があります。容器ごと湯煎し柔らかくすると出しやすくなります。リンク B が完全に溶けるまで良くかき混ぜて下さい。ぬるま湯で溶くと溶けやすくなります。

【コンティニューオ リンクアート編】

5 m²分 小分け目安 (リンクアート A 70cc+リンクアート B 50g+水 280g)

電子量りをご用意ください

養生時間 4 時間 (20℃環境)

リンク A とリンク B と水を 1 : 0.7 : 4 の割合いで混合してください。

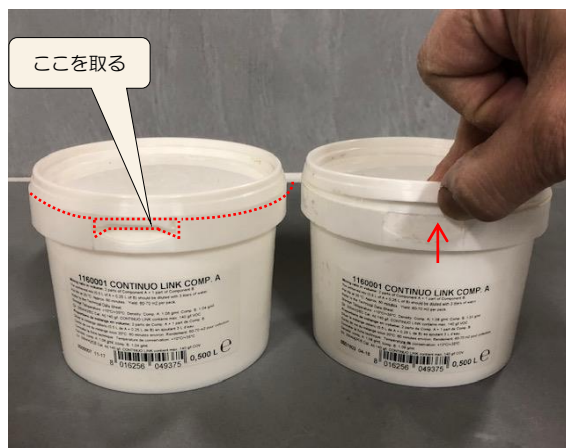
<リンク・リンクアート共通事項>

★浸透性の液体です。デコの乾燥時間が不十分だと浸透しきらずシミ跡などの原因となりますのでご注意ください。壁等の垂直面は液だれ跡やシミ跡などにご注意ください。上記小分け目安で余る傾向にありますので付けすぎ注意です。

★塗布前に表面のゴミやほこりなどふき取ってください。

★ローラー跡が残らない様にローラーはランダムに動かしてください。

★リンク（エポキシ樹脂）は硬化するまで非常に時間が掛かる性質があります。数時間で表面乾燥しても実硬化しておりませんのでトップ塗布までの養生時間は厳守ください。



コート材

【コンティニューオ トップ編】

5㎡分 小分け目安 2回塗り（トップ A500cc+トップ B150cc+水 65g）
電子量りをご用意ください

養生時間 各1~2時間（20℃環境）※最終塗布後 24 時間で硬化完了です。

トップ A とトップ B と水を 100 : 30 : 13 の割合いで混合してください。

トップ A と B は都度混合の使用使い切りが基本です。

★入り隅などはトップが溜まりやすく、白濁したまま硬化するなどの原因となりますので薄目に塗布してください。

★塗布前に表面のゴミやほこりなどふき取ってください。

★ローラー跡が残らない様にローラーはランダムに動かしてください。

★施工の際や養生時はホコリ等が付かないような施工環境に配慮してください。

★乾燥後、表面を 1000~1500 番のサンドペーパーで撫でるように力を入れずに研磨すると表面がより滑らかになります。

【お手入れ編】

汚れやキズに強いウレタン塗膜ですが、ワインやコーヒーなど色素の強い液体の長時間の放置はシミの原因となりますので直ぐにふき取って下さい。普段は乾いた布か固く絞った布で軽く拭く程度で十分です。油汚れが付いた際には中性洗剤を浸した布で軽くこすり、水拭きをして最後に乾拭きをします。

ウレタン塗膜はメンテナンス無しでも長期にわたる耐久性を有しておりますが、使用箇所や使用頻度など状況により表面の劣化（防水効果の劣化）が起こる場合がございます。その際はサンドペーパー等で古いウレタン層を除去し再塗布する事により効果がよみがえります。

★禁止事項

塗装面にキズがついてしまうと白い跡になってしまいますのでスチールウールや研磨剤で磨く、ヤスリで削る、重曹や除光液等の薬品を使用する等は避けて下さい。また暖房機器の側、直射日光が長時間当たる場所への施工は色あせや反りの原因になりますのでご注意ください。

ご不明な点ございましたらお問い合わせください。

株式会社オンザウォール

〒422-8005

静岡県駿河区池田 364-1

TEL 054-368-4386

FAX 054-653-3171

2020/4 Ver.8